

子育て講座(6/3) 報告
 講師: 多摩信用金庫
 すまいるプラザ多摩センター
 斉藤利夫氏

＊子育てにはいくらかかるの？＊ ～知っておきたいライフプランのポイント～



教育資金は
 いくらかかる？

すべて公立で、大学まで行くと1008万円(幼65、小182、中135、高115、大511)(平成25年文科省調査に基づく計算)。すべて私立で2367万円。

教育費の
 準備方法は？

1. 定期積金で貯める…給与天引きできるので貯まる。。ただ、貯まると他の事に使いたくなる。
2. 保険で準備する…解約は元本割れするので我慢して貯められる。学資保険は戻り率は少ないが働き手に何かあった時に保障される利点がある。個人年金保険は老後のためだが、満期を学資に合わせると良い。
3. 資産運用…今は、利子が低すぎてむずかしい。
4. 教育ローン・奨学金などの活用…国の教育ローンを第一に考える。奨学金は増えているが、将来の生活が厳しくなる。

教育資金だけにではなく、
 ライフプランニングを！

人生における3大資金

教育 **住宅** **老後**

ライフプランニングで大切なことは、◎家族で話し合って
 ①早く始める ②長く続ける ③少しずついいからこつこつと

ライフプランニングの
 重要性と方法
 教育費推移表はHP参照)

後悔しないために
 家庭の収入と支出の予測をたてる
 【いつから、いつまでに、いくら】

- ・余裕あるのが“いつ”、大変なのが“いつ”で、“今は貯め時”がわかる
- ・使うべき時にちゃんと使える(旅行、外食、子どもへのプレゼント)
- ・自分の貯蓄の方法に自信が持てる(他の家庭に振り回されない)

ライフプランニングの見直しのタイミング【就職・結婚・出産・住宅購入・退職・セカンドライフ・病気など】・・・子どもの成長に合わせて・・・

家計の
 現状把握

- ①年間ベースの総支出額の把握…1年間手取り収入－1年間貯蓄額＝1年間の総支出額
- ②家計の実態の把握…1年間の総支出額－(住居費＋保険料＋食費公共料金等)
 ＝**その他支出(使途不明金が出てくる)**

むだ遣いの見直し
 節約して、貯蓄に回せる？

ローン・
 保険の
 見直し

{参考 1} 教育資金の一括贈与

祖父母から孫へ。贈与税がかからないという制度がある。(平成31年3月まで)

{参考 2} 教育費の捻出方法 (平成25年アンケート)

1位	奨学金を受けている	59.9%
2位	教育費以外の支出を削っている	56.3%
3位	子どもがアルバイトしている	46.7%
4位	預貯金・保険の取り崩し	22.5%
5位	残業やパートの時間を増やした	21.0%



* 目先の生活、やりくりで今はいっぱいですが、「10年20年先を見据えて・・・」という話は参考になった。



* 教育費ってまだ先の事だけれど、今日を機会に、「夫婦で話し合ってみよう」と思った。

* 教育資金のことは、いつも気になりつつも、まあいいかと後回しにしていたが、「一度きちんと計算してみたい」と思った。

* 「どこに」「どれだけ」のお金がかかるか、とても分かりやすく参考になった。

* 「貯め時」を把握することも大事と聞いて、なるほどと思った。

* 「教育」資金だけでなく、「住宅」や「老後」のお金の事もわかってよかった。今までは何とかなるだろうと思ってたが、家族で一度しっかり話し合おうと思った。